

お彼岸

この一日はまことに豪華なおもてなしに預り
石子くわ礼申し上げます。

しなけしはいけませんよと老母から言はれ
ましなわ、これはいかになわがありませうか。
いかにしこの老母の苦言は尤もなわで、近頃の

おかしいところを、お共のなわにいろいろお叮咛
お内配を思ひ預りたことを重ねてお礼申し上げ
ます。

末尾から奥さまによろしくお伝え下さるは
幸甚に存じます。

（「花長」の奥さまの飲サツパリをお見せ
たいへん好きに存じました）

右句々く礼まで申し述べ
敬具

五月二十七日

八木義徳 敬

冊橋 聖王 一様次

侍史

五月二十七日

横浜市鶴見区馬場町
八木義徳